

TAKANAWA GATEWAY CITYに水素パッカー車を導入しました！

2026年3月28日

株式会社 JR 東日本環境アクセス

株式会社 JR 東日本環境アクセスは、環境負荷低減と脱炭素化に向けた取り組みの一環として、最新型の燃料電池(FC)パッカー車(ごみ収集車)を導入しました。本車両は、水素と空気から発電する燃料電池を動力源とするもので、民間企業による水素パッカー車の導入としては先行的な取り組みとなります。



燃料電池(FC)パッカー車



TAKANAWA GATEWAY CITY 食品廃棄物リサイクル施設

当社は TAKANAWA GATEWAY CITY の食品廃棄物リサイクル施設の運営を行っており、水素パッカー車の導入は、街全体で CO₂ 排出量“実質ゼロ”を目指す TAKANAWA GATEWAY CITY の取り組みを推進するものです。

水素パッカー車は、従来のディーゼル車両と比べて

- ・走行時の CO₂ 排出ゼロ(ゼロエミッション)
- ・静音性の確保

など多くのメリットがあり、当社の環境経営を象徴する車両となります。

引き続き、当社は環境に配慮した取り組みを積極的に推進していきます。